別添資料

宮城教育大学との対話会　事後アンケート結果

アンケート集約担当：本田　一明

アンケート回答数15件（参加者15名であり、回収率　100　%）

Ⅰ　対話会に関するアンケート

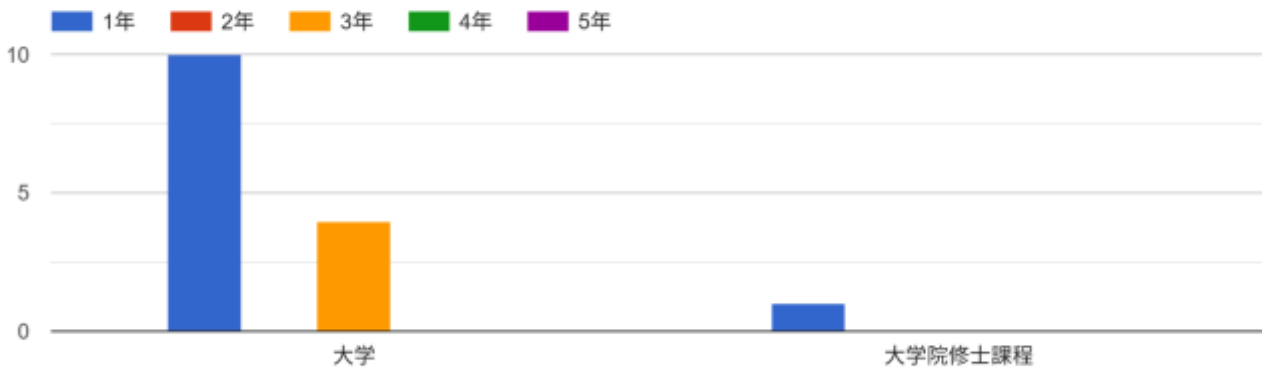
(1) 参加学生について

・男性12名、女性3名

・学年：1年生10名、3年生4名、大学院1年生1名

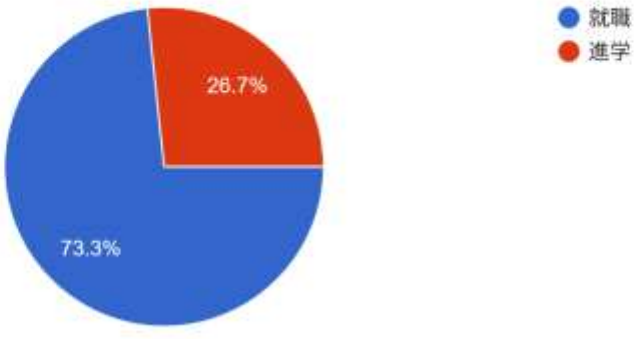
・専攻：中等教育専攻理科コース　　・進路（希望）：　就職　11 名、進学 4 名

❒　該当するものをチェックして下さい。

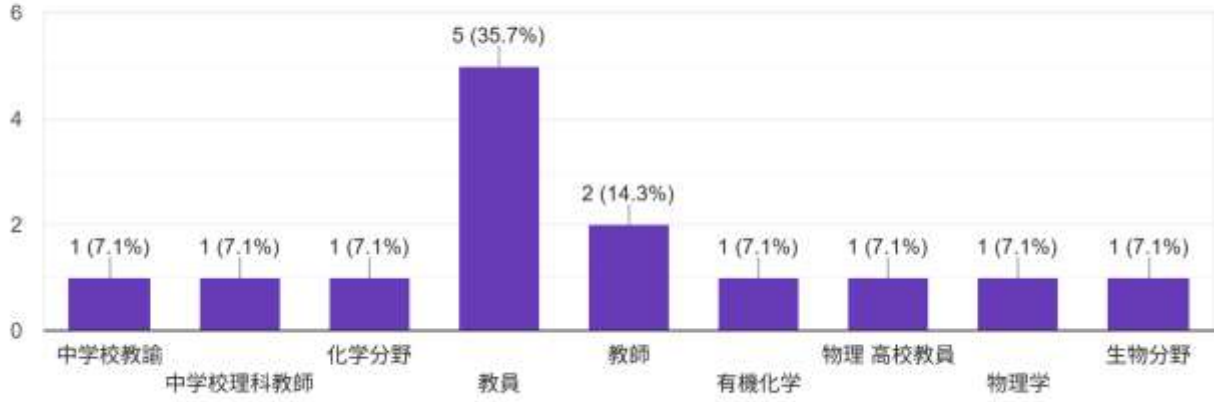


❒　進路について伺います。該当するものをチェックし、分野、希望先を記入して下さい。

15 件の回答



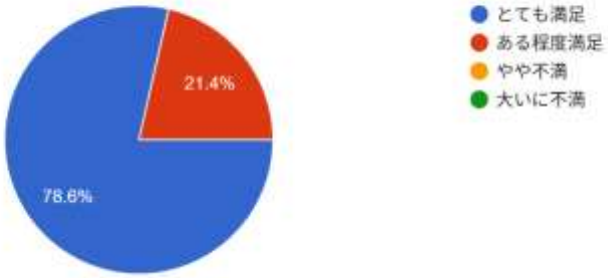
分野・希望先（具体名は任意）
14 件の回答



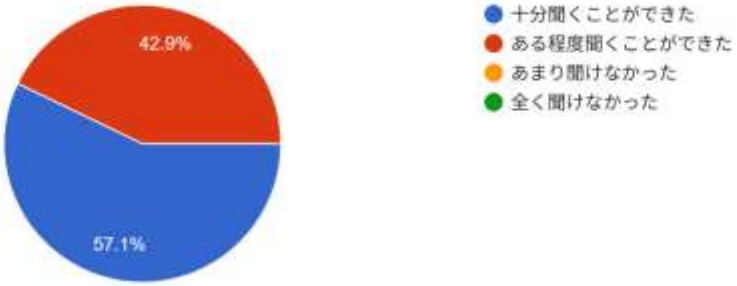
1. 講演について伺います。

1-1 講演:「考えよう日本のエネルギー」 について

(1) 講演の内容は満足のいくものでしたか？
14 件の回答

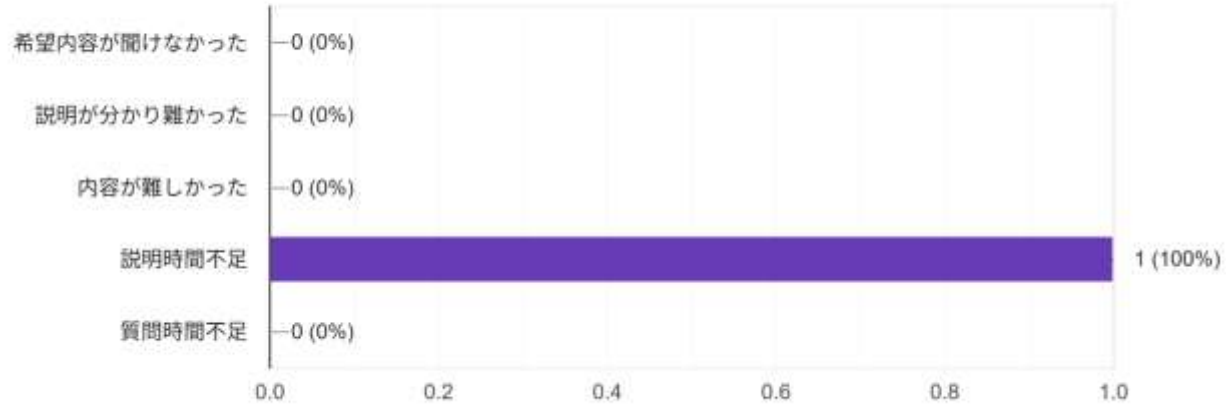


(2) 事前に聞きたいと思っていたことを聞けましたか
14 件の回答



(3)　やや不満、大いに不満/あまり聞けなかった、全く聞けなかった理由は？（複数回答可）

1 件の回答



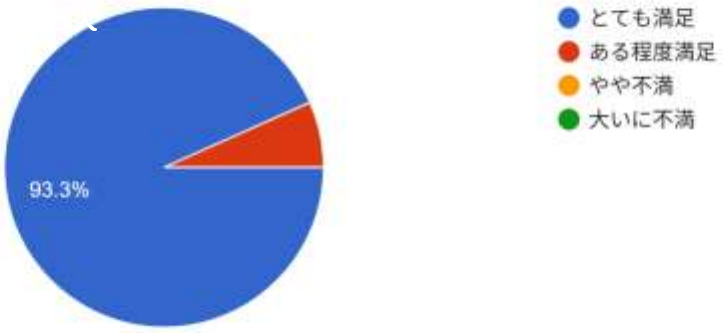
(4)　今回の講演内容以外で聞きたいテーマがありましたら自由に書いてください。 講演が無かった場合もお答えください。5 件の回答

・原子力発電の処理水について
・学生にどのように考えさせるか
・核分裂について
・原子力発電所事故が起きた地域の利活用してもいいかどうか
・原子力発電所をどこに建設するかについて

2. 対話について伺います。

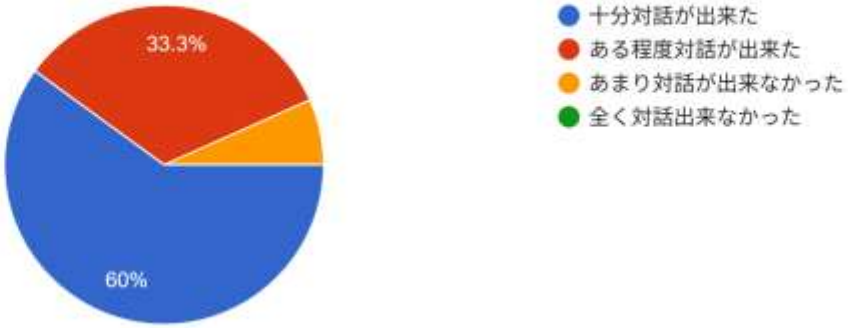
(1)　対話の内容は満足のいくものでしたか？

15 件の回答



(2)　事前に対話したいと思っていたことは対話出来ましたか？

15 件の回答



(3)　やや不満、大いに不満/あまり対話出来なかった、全く対話出来なかった理由は？（複数回答可）

2 件の回答



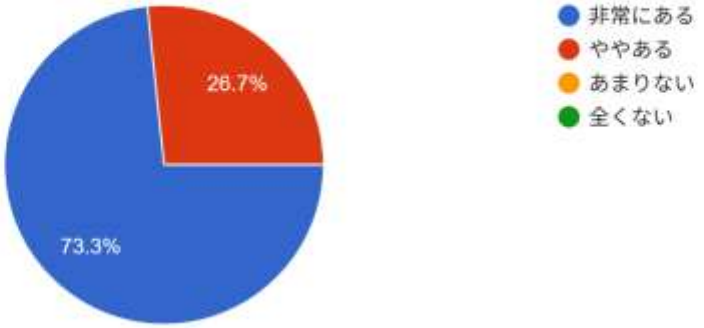
3.　今回の講演や対話で得られたことは何ですか？（複数回答可）

14 件の回答



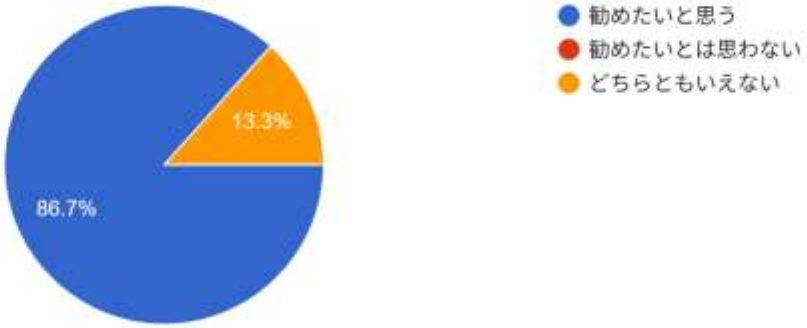
4. 「学生とシニアの対話」の必要性についてどのように感じますか？

15 件の回答



5. 今後，機会があれば友達や後輩に対話会への参加を勧めたいと思いますか？

15 件の回答



Ⅱ　放射線・エネルギー・環境に関する意識調査

1.　放射線、放射能に対して伺います。あなたの考えに近い項目をチェックしてください。

(1)　放射線・放射能の危険性について伺います。

15 件の回答



(2)　放射線・放射能の生活における有用性について伺います。

15 件の回答



2.　電源について伺います。あなたの考えに近い項目をチェックしてください。

(1)　原子力発電について伺います。

14 件の回答



(2)　再エネ発電について伺います。

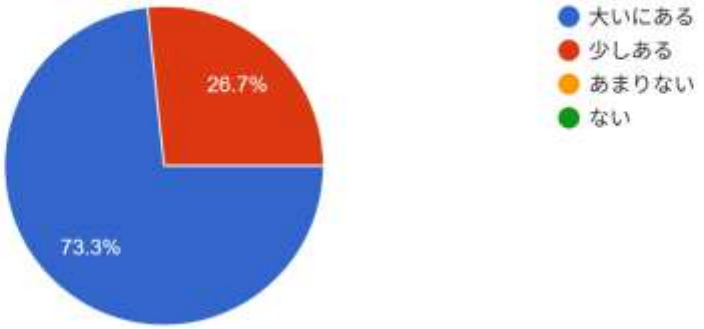
15 件の回答



3. カーボンニュートラルとエネルギーについて伺います。あなたの考えに近い項目をチェックしてください。

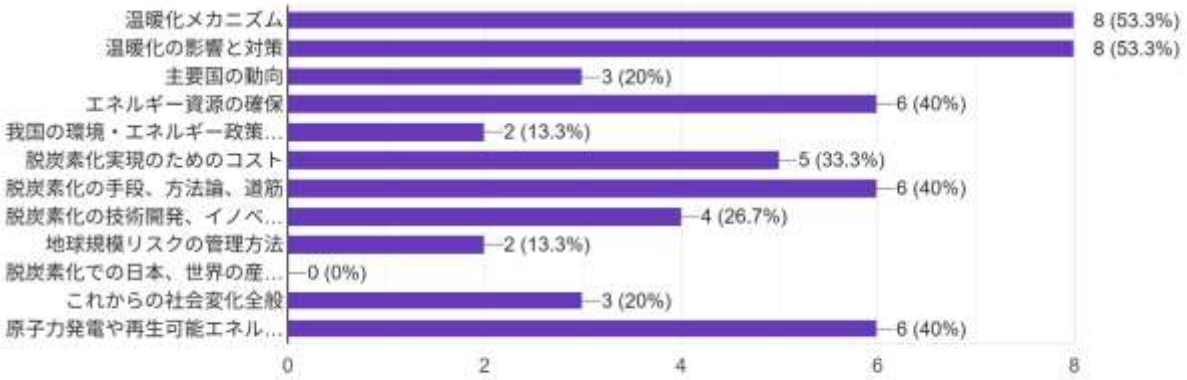
(1) 地球温暖化や脱炭素社会の実現について関心や興味がありますか？

15 件の回答



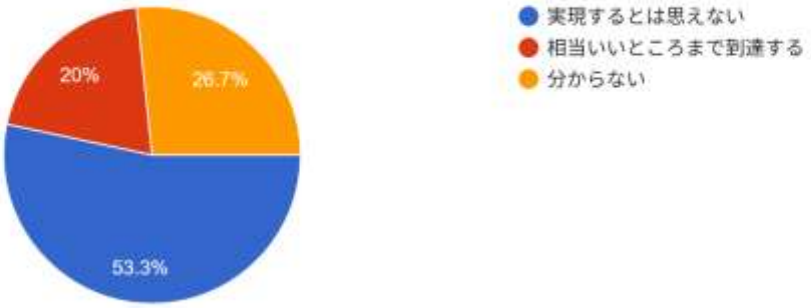
(2) 興味や関心があるのはどの項目でしょうか？（複数回答可）

15 件の回答



(3) 日本の2050年脱炭素化社会の実現可能性についての見解を伺います。

15 件の回答



(4)　脱炭素に向けた電源の在り方について伺います。

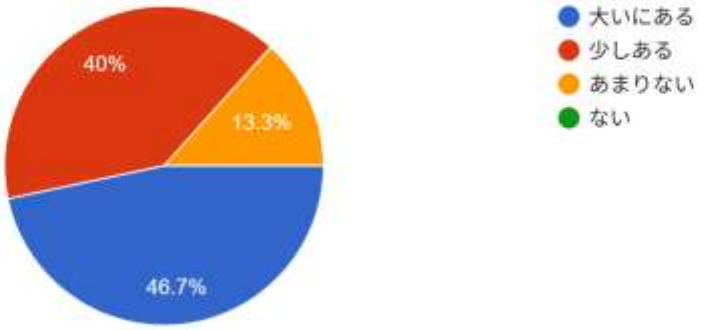
15 件の回答



4. 高レベル放射性廃棄物の最終処分について伺います。あなたの考えに近い項目をチェックしてください。

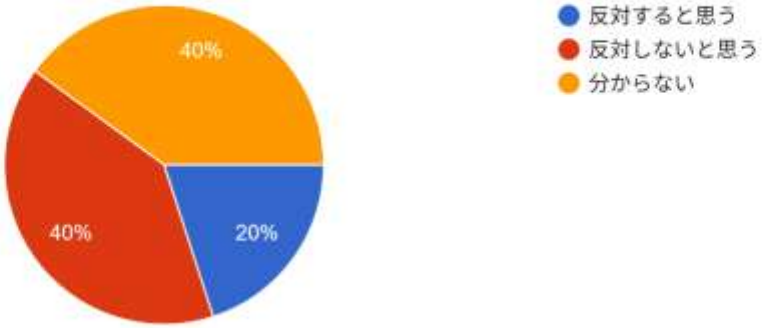
(1)　地層処分について関心や興味がありますか？

15 件の回答

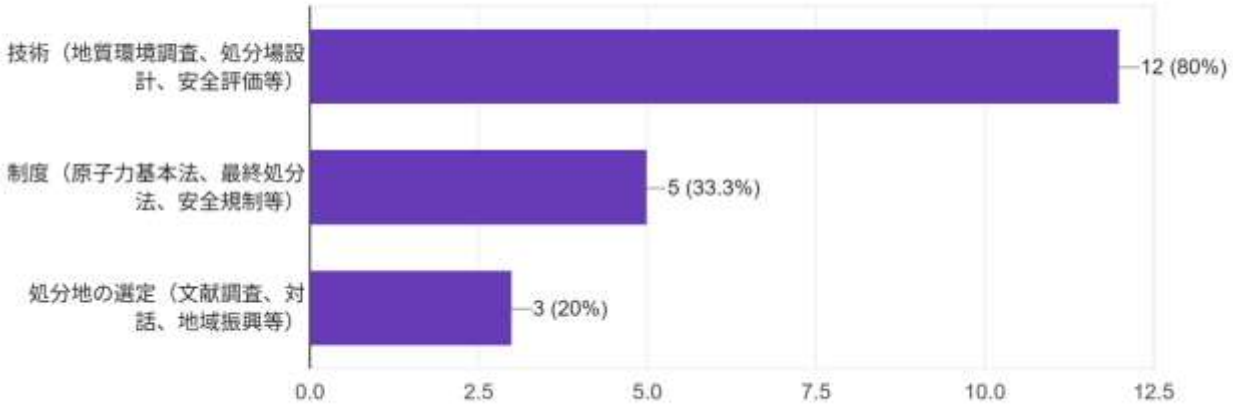


(2)　あなたの住む地域や周辺地域で地層処分場の計画が起きたらどうしますか？

15 件の回答



(3)　地層処分について興味や関心があるのはどの項目でしょうか？（複数回答可）
15 件の回答



本企画を通して全体の感想・意見などあれば自由に記載ください。 8 件の回答

・シニアの方々から貴重な情報、考え、意見等聞くことができ、とても有意義な時間になりました。一段と賢くなった気がします。原子力発電に対する価値観が大きく変わりました。意見を伝承することが大事だなと感じました。私が教員になったとき、伝えたいです

・電力発電と教育、環境など様々な分野を混ぜて考える機会はなかなかないものだったので有意義な時間となってよかったです。

・自分とは異なった立場の意見について色々知れたため知見が深まった。 とても貴重な機会だった。

・とても面白い対話でした。このような問題は「問題、課題」として上がることが大事だと思うのでこのような機会を教育現場で増やしたいです。

・初めての対話形式だったのですが、自分にはない意見が視覚的に見えて学びを深められた気がします。

・自分のこれからの原発についての考え方に対して、とても有意義な学びを得られた。

・主体的に考えるきっかけにもなり、考えを深められた。

・とても貴重な機会でした。是非ともまた話し合いたいです。

以　上